

## 株主メモ

|                |                                                                                 |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度           | 毎年4月1日から翌年3月31日まで                                                               |
| 定時株主総会         | 毎年6月                                                                            |
| 基準日            | 定時株主総会の議決権 3月31日<br>期末配当 3月31日                                                  |
| 株主名簿管理人        | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号<br>みずほ信託銀行株式会社                                                 |
| 同事務取扱場所        | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号<br>みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部                                         |
| 公告方法<br>(お知らせ) | 電子公告の方法により行います。<br>ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 |
| 公告掲載URL        | <a href="http://www.nipponroad.co.jp/">http://www.nipponroad.co.jp/</a>         |

郵便物送付先・電話お問い合わせ先

|           | 証券会社に口座をお持ちの場合                                                    | 特別口座の場合                                                   |
|-----------|-------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 郵便物送付先    | お取引の証券会社等になります。                                                   | 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>みずほ信託銀行株式会社 証券代行部            |
| 電話お問い合わせ先 |                                                                   | フリーダイヤル<br>0120-288-324                                   |
| お取扱店      |                                                                   | みずほ信託銀行株式会社<br>本店及び全国各支店<br>みずほインベスターズ証券株式会社<br>本店及び全国各支店 |
| ご注意       | 未払配当金の支払*、支払明細発行については、右記の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。 |                                                           |

※未払配当金の支払のみ、株式会社みずほ銀行全国本支店でもお取扱いたします。

みずほインベスターズ証券は、2013（平成25）年1月4日以降はみずほ証券となります。

### 【株式に関する手続きのご案内】

株式に関する手続き（住所変更及び単元未満株式買取請求等）につきましては、証券会社等をご利用の場合は、引き続きご利用の証券会社等へお問い合わせください。

また、特別口座をご利用の場合及び未払配当金につきましては、上記の「電話お問い合わせ先 フリーダイヤル 0120-288-324」にお問い合わせください。

### 【配当金等のお受取り】

配当金等のお受取りには、安全・確実・便利な口座振込等をおすすめします。詳しくは、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

# 株主のみなさまへ

## 2012年度 中間報告書

2012年4月1日から2012年9月30日まで



人にやさしく。

社会にやさしく。

地球にやさしく。



東京都港区新橋一丁目6番5号

ホームページアドレス <http://www.nipponroad.co.jp/>



## 株主のみなさまへ

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2012年9月30日をもって、2012年度（2012年4月1日から2013年3月31日まで）の前半を終了いたしましたので、ここに上半期の状況についてご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2012年12月

当上半期の日本経済は、引き続きの底堅さがみられますが、世界景気の減速等を背景として、このところ弱めの動きになってきています。

当社グループの主要事業である建設関連動向におきましては、民間設備投資の一部に弱い動きがみられるものの緩やかに持ち直してきており、住宅建設は横ばいとなっていますが公共投資は堅調に推移しております。

このような状況下、当社グループの業績は、工事受注高は522億6千7百万円（前年同期比5.1%増）、完成工事高は470億6百万円（同10.2%増）、総売上高は596億5千6百万円（同9.6%増）となり、利益につきましては、営業利益3億5千8百万円（前年同期は9千5百万円の営業損失）、経常利益3億5千万



代表取締役社長 いの 憲男

円（同2億5千万円の経常損失）、四半期純利益9千4百万円（同2億8千3百万円の四半期純損失）となりました。

今後の道路建設業界におきましては、復興需要が継続しており、政府建設投資の増加や民間建設投資の緩やかな回復基調も継続が見込まれます。一方、アスファルト合材製造販売事業につきましては東北地域を除き国内需要の盛り上がりには欠けるとともに、舗装原材料の高騰が懸念されています。

こうした不透明な状況の中、通期見込みにつきましては期首計画どおり、総売上高1,410億円、営業利益41億円、経常利益41億円、当期純利益22億円を見込んでおります。

今後とも株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ引き続き一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（Nipponroad Victory Plan, 2012.04.01～2015.03.31）を策定しました。

### 業績目標

| 連 結       | 2014年度  |
|-----------|---------|
| 売 上 高     | 1,410億円 |
| 経 常 利 益   | 41億円    |
| 当 期 純 利 益 | 22億円    |

### 基本コンセプト

#### 基本路線の継続

持続的な利益ある成長

#### 組織風土の改革

活力ある企業風土の創造

#### 革新への挑戦

新たなビジネスモデルの創出

## 当社グループの目指す姿

当社グループは、すべてのステークホルダーから「企業価値No.1」と言われる企業を目指し、さまざまな活動に取り組んでおります。

### 地球環境

地球環境に配慮し、社会との調和を図ります。

フォームドアスファルト中温化舗装技術は、アスファルトを泡状化することにより、アスファルト製造温度を20度低減でき、二酸化炭素の排出量を約10%削減します。



### 顧客

独自の技術により、高品質な商品・サービスを提供し、顧客満足度の向上に取り組みます。

東邦大学付属高等学校創立60周年、中学校創立50周年記念事業として新たな教育施設の充実のために、グラウンドを人工芝へリニューアルしました。



### 地域社会

地域社会との共生を図り、豊かな社会づくりを目指します。

津市立橋南中学校の生徒が「訪問学習」の一環として当社本社を訪問し、本社と三重営業所をテレビ会議システムで結び、舗装技術や施工方法など、道路に対する理解を深めてもらいました。



## 日本道路グループ

すべてのステークホルダーから  
『企業価値NO.1』

### 株主

株主価値の向上を図り、利益還元の実現を果たします。

安定的・継続的な経営成績をベースに連結配当性向30%を目途に配当を実施しております。



### 従業員

いきいきと働ける環境を実現し、人間性を尊重して働ける職場を実現します。

従業員全員を対象に満足度調査を実施し、その結果をとりまとめ『VOICE「働きがいのある会社」めざして』として、従業員に通知しました。従業員の生の声を人事制度や福利厚生制度などに反映し働きやすい職場環境づくりを進めております。



### 取引先

信頼と協働により相互の発展を目指します。

当社グループと取引関係にある協力会社とのさらなる良好な関係の維持と発展を目的として、当社グループが実施する事業の推進に協力していただいた協力会社を、事業協力者表彰として表彰させていただいております。



第2四半期決算概要（連結）

連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

| 科 目      | 2011年度<br>(2011年9月30日現在) | 2012年度<br>(2012年9月30日現在) | 科 目                  | 2011年度<br>(2011年9月30日現在) | 2012年度<br>(2012年9月30日現在) |
|----------|--------------------------|--------------------------|----------------------|--------------------------|--------------------------|
| 流 動 資 産  | 79,799                   | 82,402                   | 流 動 負 債              | 50,515                   | 51,249                   |
|          |                          |                          | 固 定 負 債              | 6,895                    | 8,614                    |
| 現 金 預 金  | 14,484                   | 12,696                   | 負 債 合 計              | 57,411                   | 59,864                   |
| 売 上 債 権  | 37,258                   | 40,597                   | 株 主 資 本              | 54,155                   | 56,031                   |
| 棚 卸 資 産  | 5,352                    | 4,548                    | 資 本 金                | 12,290                   | 12,290                   |
| そ の 他    | 22,702                   | 24,560                   | 資本剰余金                | 14,536                   | 14,536                   |
| 固 定 資 産  | 32,040                   | 33,480                   | 利益剰余金                | 28,899                   | 30,785                   |
|          |                          |                          | 自 己 株 式              | △1,569                   | △1,580                   |
| 有形固定資産   | 26,475                   | 28,360                   | その他の包括利益累計額          | 260                      | △52                      |
| 無形固定資産   | 371                      | 373                      | その他有価証券<br>評 価 差 額 金 | 121                      | △124                     |
| 投資その他の資産 | 5,193                    | 4,745                    | 為替換算調整勘定             | 139                      | 71                       |
| 資 産 合 計  | 111,839                  | 115,882                  | 少数株主持分               | 11                       | 39                       |
|          |                          |                          | 純 資 産 合 計            | 54,427                   | 56,018                   |
|          |                          |                          | 負債純資産合計              | 111,839                  | 115,882                  |

※ 貸借対照表の「現金預金」とキャッシュ・フロー計算書の「現金及び現金同等物の四半期末残高」の差額については、貸借対照表の流動資産「その他」に「有価証券（譲渡性預金）」が、2011年度は120億円、2012年度は130億円含まれていることによります。

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

| 科 目                                     | 2011年度<br>(2011年4月1日から<br>2011年9月30日まで) | 2012年度<br>(2012年4月1日から<br>2012年9月30日まで) |
|-----------------------------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------|
| 売 上 高                                   | 54,432                                  | 59,656                                  |
| 売 上 原 価                                 | 50,623                                  | 55,405                                  |
| 販売費及び一般管理費                              | 3,904                                   | 3,892                                   |
| 営 業 利 益 又 は<br>営 業 損 失 ( △ )            | △95                                     | 358                                     |
| 営 業 外 収 益                               | 220                                     | 177                                     |
| 営 業 外 費 用                               | 375                                     | 185                                     |
| 経 常 利 益 又 は<br>経 常 損 失 ( △ )            | △250                                    | 350                                     |
| 特 別 利 益                                 | 6                                       | 10                                      |
| 特 別 損 失                                 | 42                                      | 69                                      |
| 税金等調整前四半期純利益又は<br>税金等調整前四半期純損失(△)       | △286                                    | 291                                     |
| 法人税、住民税及び事業税                            | 119                                     | 157                                     |
| 法 人 税 等 調 整 額                           | △124                                    | 41                                      |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は<br>少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △281                                    | 92                                      |
| 少 数 株 主 利 益 又 は<br>少 数 株 主 損 失 ( △ )    | 1                                       | △1                                      |
| 四 半 期 純 利 益 又 は<br>四 半 期 純 損 失 ( △ )    | △283                                    | 94                                      |

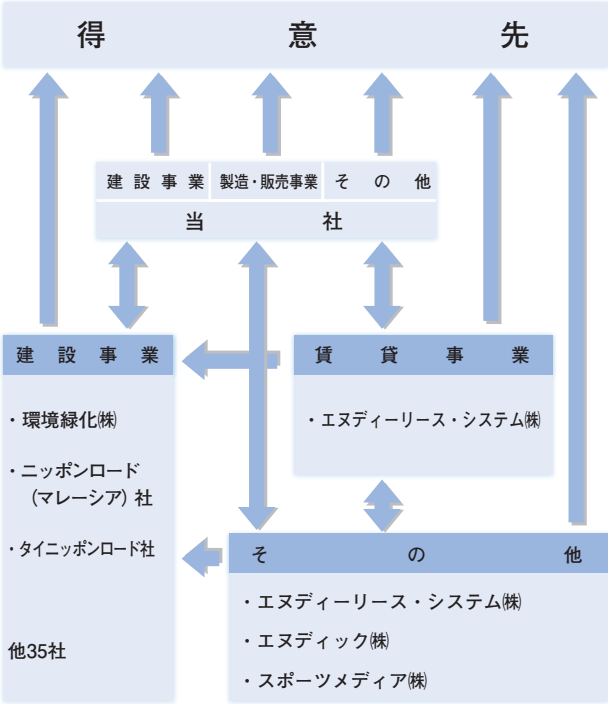
連結キャッシュ・フローの要旨

(単位：百万円)

| 科 目                  | 2011年度<br>(2011年4月1日から<br>2011年9月30日まで) | 2012年度<br>(2012年4月1日から<br>2012年9月30日まで) |
|----------------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | 4,551                                   | 4,201                                   |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | △931                                    | △2,898                                  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     | △575                                    | △697                                    |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額     | △19                                     | 0                                       |
| 現金及び現金同等物の増減額        | 3,024                                   | 605                                     |
| 現金及び現金同等物の期首残高       | 23,460                                  | 25,076                                  |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | －                                       | 14                                      |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高     | 26,484                                  | 25,696                                  |

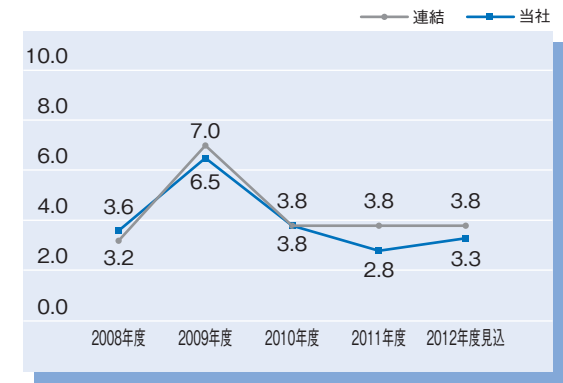
連結セグメント情報

事業系統図



自己資本利益率（ROE）の推移

(%)



セグメント別売上高

(単位：百万円)



## NICHIDOの技術

## 凍結抑制舗装「アメニウレタン」



## 凍結抑制舗装「アメニウレタン」の特長

- ・氷の剥離、破砕 → スリップ防止
- ・塩化物不使用 → 車両が錆びない
- ・メンテナンスフリー → 耐用年数5年以上

凍結抑制舗装「アメニウレタン」は、舗装の表面にウレタン樹脂混合物を浸透・充填させた工法で、雪氷路面上を車両が通過することにより路面の氷を破砕し、スリップ事故を防止します。

また、従来の凍結抑制に多く採用されている塩化物を使用しないため車が錆びることもなく、無公害かつ散布などにも必要ないため、道路管理の軽減も図れます。

当社では積雪地域だけでなく、全国の寒冷地や山間地などでも積極的に展開してまいります。

## 社会貢献活動

## 東北横断自動車道宮守道路舗装工事 現場見学会

2012年9月1日、東北横断自動車道釜石秋田線連絡協議会（東和～宮守工区分科会）主催のもと当社施工の東北横断自動車道宮守道路舗装工事において、現場見学会が行われました。

小学校の親子ら100名以上が参加し、トンネルの見学や道路舗装面（基層）に自由にメッセージを書き込むなど、高速道路を身近に感じてもらいました。

その後、メッセージを書き込んだ基層面に表層を施工し、2012年11月25日に開通いたしました。



## 子会社の取り組み「平和のつどい」

当社グループの子会社である、スポーツメディア株式会社では広島市で運営している「東雲デイサービスセンター・東雲スイミングクラブ」で、毎年8月にヒロシマの原爆体験を伝承する「平和のつどい」を開催しています。

被爆体験のあるデイサービス利用者の体験談に、スイミングクラブに通う子供達、その親、デイサービスを利用するお年寄りと幅広い世代が熱心に聞き入っていました。

今後も、ヒロシマの被爆体験を風化させないように、また多世代が交流できる施設の特色を生かし、「小さな平和活動」として継続してまいります。



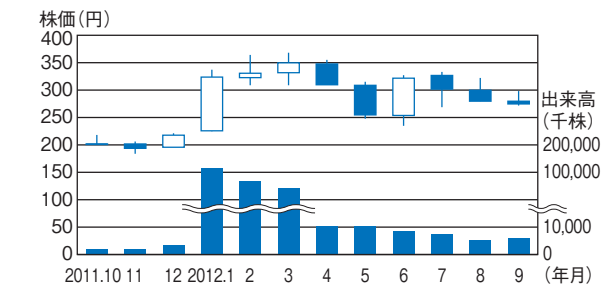
## 株式の状況（2012年9月30日現在）

- 発行可能株式総数 380,000,000株
- 発行済株式の総数 97,616,187株
- 株主数 9,640名
- 大株主（上位10位）

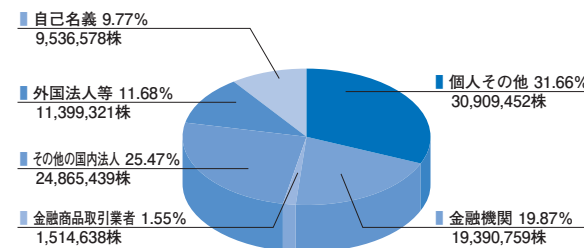
| 株主名                                                 | 当社への出資状況  |        |
|-----------------------------------------------------|-----------|--------|
|                                                     | 持株数       | 出資比率   |
| 清水建設株式会社                                            | 21,834 千株 | 24.8 % |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）                           | 3,676 千株  | 4.2 %  |
| 株式会社みずほコーポレート銀行                                     | 2,200 千株  | 2.5 %  |
| 日本道路従業員持株会                                          | 2,189 千株  | 2.5 %  |
| シービーエヌワイ デイエフエイ インターナショナル<br>スモール キャップ バリュースポーツフォリオ | 2,090 千株  | 2.4 %  |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）                             | 1,934 千株  | 2.2 %  |
| 日本道路取引先持株会                                          | 1,919 千株  | 2.2 %  |
| 明治安田生命保険相互会社                                        | 1,705 千株  | 1.9 %  |
| 住友生命保険相互会社                                          | 1,440 千株  | 1.6 %  |
| 山内正義                                                | 1,221 千株  | 1.4 %  |

（注）出資比率は自己株式（9,536,578株）を控除して計算しております。

## ● 株価チャート



## ● 所有者別株式数分布状況



## 会社の概要（2012年9月30日現在）

|        |                                                                                                                                                                                   |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商号     | 日本道路株式会社                                                                                                                                                                          |
| 所在地    | 東京都港区新橋一丁目6番5号<br>電話（03）3571-4891（代表）                                                                                                                                             |
| 設立     | 1929年3月10日                                                                                                                                                                        |
| 資本金    | 12,290,266,959円                                                                                                                                                                   |
| 従業員数   | 1,405名                                                                                                                                                                            |
| 主な事業内容 | 1. 道路建設及び舗装工事<br>2. 一般土木工事<br>3. 一般建築工事<br>4. 環境整備工事<br>5. スポーツ・レジャー施設工事<br>6. アスファルト合材・乳剤の製造販売<br>7. 産業廃棄物の処理並びに再生製品の販売<br>8. 建設コンサルタント<br>9. 賃貸事業<br>10. 不動産取引業務<br>11. 建築設計・監理 |

## 取締役・監査役

|         |      |      |
|---------|------|------|
| 代表取締役社長 | 三山星久 | 武宜男  |
| 代表取締役社長 | 山口野松 | 好口三郎 |
| 代表取締役社長 | 久松高水 | 知徹   |
| 代表取締役社長 | 日清石高 | 中野次夫 |
| 代表取締役社長 | 監査役  | 一誠   |
| 代表取締役社長 | 監査役  | 一誠   |
| 代表取締役社長 | 監査役  | 一誠   |
| 代表取締役社長 | 監査役  | 一誠   |
| 代表取締役社長 | 監査役  | 一誠   |
| 代表取締役社長 | 監査役  | 一誠   |

## 執行役員

|        |      |      |    |    |
|--------|------|------|----|----|
| 執行役員社長 | 山星伊久 | 口野久矢 | 宣政 | 男郎 |
| 執行役員社長 | 天日小山 | 野尾高林 | 善雅 | 三章 |
| 執行役員社長 | 及井鈴一 | 川山口  | 信秀 | 実徹 |
| 執行役員社長 | 井高宮  | 井高宮  | 一見 | 研  |
| 執行役員社長 | 井高宮  | 井高宮  | 一見 | 研  |
| 執行役員社長 | 井高宮  | 井高宮  | 一見 | 研  |
| 執行役員社長 | 井高宮  | 井高宮  | 一見 | 研  |
| 執行役員社長 | 井高宮  | 井高宮  | 一見 | 研  |
| 執行役員社長 | 井高宮  | 井高宮  | 一見 | 研  |
| 執行役員社長 | 井高宮  | 井高宮  | 一見 | 研  |
| 執行役員社長 | 井高宮  | 井高宮  | 一見 | 研  |